

フットサルルール(初心者向けルール解説)

ここでは、1 から詳しいルール説明はいたしません、初心者の方々がルール違反をするよくあるケースをご紹介します。また、フットサルはサッカーと違い、小スペースでプレーしますので、相手に対する接触プレーはサッカーよりファールになりやすいと思ってください。ルールを理解して皆さんが楽しくプレーできることを望んでいます。

1. キックオフ

- ・キックオフは必ずボールを前方に出さなければなりません。
- ・以上のことを守らない場合、もう一度やり直しになります。

※相手ゴールに限り、キックオフから直接ゴールすることができる。

○キックオフから相手ゴールに直接入った場合の得点が認められなくなりました。

相手チームのゴールクリアランスで再開です。

◎Tリーグでの対応

ワンタッチがあればゴールが認められますので、公式試合ではワンタッチ狙いでキックオフからシュートを打つ場合があります。

Tリーグでは危険ですので、ワンタッチを狙ってキックオフからシュートを打たせないように指導してください。

2. キックイン(サッカーのスローインと同じ扱い)

- ・ボールをライン上に静止しないと違反

○ラインの外側25センチまでは許容範囲になりました。

※ライン上に乗って、静止していないケースがよくあります。

- ・軸足(蹴り足でない方の足)がラインを完全に超えると違反

※軸足がコートの外か少しでもラインにかかっている場合はOK

- ・ボールを静止してから4秒以内に行う。(直接ゴールはできない)
- ・相手側選手はボールより5m離れなければならない。

3. 交代ルール

- ・交代時は、交代ゾーンから必ずコート内の選手が出てから入る。
- ・1人何度でもレフリーに申し出ることなく、交代できる。

4. キーパーへのバックパス

- ・キーパーは味方選手から足で意図的に出されたパスを手で扱うことができない。

- ・キーパーから出たボール（投げてもキックでも）は、一度ハーフラインを超えるか、自陣エリアで相手選手がボールに触れるかしないとキーパーへは戻せない。つまり、キーパーへ戻せる場合は、一度ハーフラインを超えさせるか、自陣で相手選手にボールを取られてから取り返すか触れさせればよい。また、相手に当てて外に出し、キックインからキーパーへパスすることも出来ます。

○ハーフウェイラインを超えても相手に当たらない限りキーパーへのバックパスができなくなりました。（条文に「ハーフラインを超える」の文言がなくなりました。）

ただしキーパー自身がハーフウェイラインを超えていればフィールドプレーヤーと同じ扱いです。再び自陣に戻った場合は、ボールが相手に当たらずバックパスを受けたら違反となります。

- ・以上のことに違反すると、キーパーの触れた位置（エリア内の場合、最寄りのライン上）から、相手の間接フリーキックになります。

◎Tリーグでの対応

キーパーからパスを受けた選手がそのままキーパーに戻したときだけ違反とすればどうでしょうか

理由1 初心者にはバックパスのルールが難しいので、キーパーもフィールドプレーヤーも考えてしまってプレーに集中できない場合がある。

2 パスが何本も通った場合、経験の浅い審判だとバックパスの違反を見逃す可能性が高い。

5. ゴールクリアランス

・ゴールクリアランスとは、サッカーでいうゴールキックに相当するものですが、フットサルの場合、キーパーがボールを手で投げて再開します。投げる距離は制限無しです。味方選手はゴールエリア外でボールを受けなければなりません。

・以上に違反すると、やり直しになり、繰り返しの行為は、遅延行為として警告の対象となります。

※ゴールクリアランスは、アウトオブプレー時の再開方法であって、インプレー中はキックでも OK です。（保持してから蹴ってもよい）しかし、バックパスルールに気を付けながらプレーを進行して下さい。

6. スライディングやボディチャージについて

・フットサルではサッカーで正当化されているチャージや相手選手へのスライディングは禁止されていますが、スライディング行為が必ずファールになるとは限りません。

・シュートやパスをする相手選手のボールディスタンス範囲外でボールのみをブロックあるいはカットする行為に限ってはノーファールとなります。

・ただし、ボールディスタンスにあるかないかは微妙な所なのでレフリーの判断に全て委ねます。よって、スライディング行為はリスクを伴うので気をつけましょう。

※ゴールキーパーのスライディングについて

- ・ペナルティーエリア内でのボールへの行為は過剰でない限りノーファール
- ・ペナルティーエリア外でのスライディングはキーパー以外の選手と同じ扱いにて裁かれますので、少なくとも警告を覚悟しなければなりません。それが決定的な得点機会の阻止に当れば退場となります。

○ルール上、正当化されている相手選手へのチャージやスライディングタックルはOKになりました。（これについては、サッカーのルールと全く同じになりました）

◎Tリーグでの対応

従来どおりのファウル扱いとします。

7. ハンドについて

・ボールを手で扱えるのは、エリア内のゴールキーパーだけです。単に手に当たったのと、手で扱うのとでは意味が違います。後者がファールの対象になります。しかしながら、身体から離れた手に当たったことにより、それが得点機会の阻止など、行為を行った選手のチーム側に明らかに優位に働いたならば、ファールになる場合もありますので、レフリーに判断を委ねます。

8. 4秒ルール

・コーナーキック、キックイン、ゴールクリアランスは4秒以内に再開しなければなりません。またキーパーは、手足どちらでも自陣内でボールを保持できる時間は4秒以内です。（特にインプレー中に注意が必要です）

注意点は、プレーヤーがボールを保持してプレーの動作に入った時点から計測です

★たまに起こりうる事例★

- ・ **キックイン**が誰にも触れずに**直接相手ゴール**に入ってしまった。
⇒ゴールとして認められません。相手ゴールクリアランスから再開です。
- ・ **キックイン**が誰にも触れずに**直接味方ゴール**に入ってしまった。
⇒（オウン）ゴールは認められません。相手コーナーキックから再開です。
- ・ **ゴールクリアランス**が誰にも触れずに**直接相手ゴール**に入ってしまった。
⇒ゴールとして認められません。相手ゴールクリアランスから再開です。
- ・ **ゴールクリアランス**が誰にも触れずに**直接味方ゴール**に入ってしまった。
⇒ゴールとして認められません。再度やり直しです。
- ・ **コーナーキック**が誰にも触れずに**直接相手ゴール**に入ってしまった。
⇒ゴールです。
- ・ **コーナーキック**が誰にも触れずに**直接味方ゴール**に入ってしまった。
⇒（オウン）ゴールは認められません。相手コーナーキックから再開です。
- ・ インプレー中、**キーパーから投げたボール**が誰にも触れずに**直接相手ゴール**に入ってしまった。
⇒ゴールとして認められません。相手ゴールクリアランスから再開です。
- ・ インプレー中、**キーパーから蹴ったボール**が誰にも触れずに**直接相手ゴール**に入ってしまった。
⇒ゴールです。（勿論、誰かに当たってもゴールです）
- ・ キックオフからシュートし誰にも触れずに**直接相手ゴール**に入った。
⇒ゴールです。（上記に同じ）